

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|--------------------|--------|-------------------|
| 建物名称 | (仮称)ル・シェモア鴨江2丁目 新築 | 階数 | 地上10F |
| 建設地 | 静岡県浜松市中区鴨江二丁目59番 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 市街化区域 | 平均居住人員 | 108人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2023年3月 予定 | 評価の実施日 | 2021年9月26日 |
| 敷地面積 | 1,490㎡ | 作成者 | 株式会社アビリティー 一級建築士専 |
| 建築面積 | 564㎡ | 確認日 | |
| 延床面積 | 2,596㎡ | 確認者 | |



| 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | 2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート) | 2-3 大項目の評価(レーダーチャート) |
|--|--|----------------------|
| <p>BEE = 1.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> | <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p> | |

| 2-4 中項目の評価(バーチャート) | | |
|--------------------------------------|---|--|
| <p>Q 環境品質 Qのスコア= 2.8</p> | | |
| <p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p> | <p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.8</p> |
| <p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1</p> | | |
| <p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.6</p> | <p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8</p> | <p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9</p> |

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|--|--|---|
| <p>総合</p> <p>これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。</p> | | <p>その他</p> |
| <p>Q1 室内環境</p> <p>F★★★★をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気質汚染を回避しています。</p> | <p>Q2 サービス性能</p> <p>給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。</p> | <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>緑地を適度に設けてまちなみや景観に配慮しています。</p> |
| <p>LR1 エネルギー</p> <p>外皮性能を等級4仕様とし、熱負荷抑制へ配慮しています。設備に関してBEI=0.91とし、高効率設備の導入し、環境負荷への配慮をしています。</p> | <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体+軽鉄+仕上材のデテールを採用しています。</p> | <p>LR3 敷地外環境</p> <p>LED照明を採用して設備システムの高効率化を図っています。敷地内に十分な駐車場、駐輪場を設けています。外部に影響のない照明計画をしています。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

| 1. 建物概要 | | | | |
|---------|----------------------|-----|---|--------------|
| 建物名称 | (仮称)ル・シェモア鴨江2丁目 新築工事 | BEE | 1 | BEEランク B+ ★★ |

| 2. 重点項目への取組み度 | | | | |
|--|---------------------|-------|------------|----------|
| 重点項目 | 得点 [※] /満点 | 取組み度 | 評価 | |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) | 3.1 /5 | | ふつつ | |
| "災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) | 2.9 /5 | | がんばろう | |
| "しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) | 2.6 /5 | | がんばろう | |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature) | 2.0 /5 | | がんばろう | |
| ※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点) | | 評価 凡例 | よい 4点以上 | ふつつ 3点以上 |
| | | | がんばろう 3点未満 | |

| 3. 重点項目についての環境配慮概要 | | 内訳対応項目 | | |
|--|--|---|---|-----|
| 各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。 | | | | |
| "ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming) | | 得点 | 3.1 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ②カーテン・庇による昼光制御 ④タイル貼りにすることで耐用年数が40年となります。 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦十分な断熱材を設け等級4の基準値を確保しています。 ⑨LED照明等、高効率設備を積極的に導入しています。 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節湯効果の高い水栓を採用しています。 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭外皮・一次エネともに等級4の基準値を満たしています。 | Q-1 2 2.1 2.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 ⑫ 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮ | ① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善 | | |
| | "災害に強いしずおか"の形成(Disaster) | | 得点 | 2.9 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑰更新必要間隔の長い配管を採用しています。 | Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰ | ⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備 | |
| | | "しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design) | | 得点 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑳階高2.9m以上とし、空間にゆとりがあります。 ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) | Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑ | ⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上 | |
| "緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature) | | 得点 | 2.0 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ③ブロックではなく、格子フェンスを採用することで防犯、まわりからの景観に配慮しています。 ■敷地外環境対策 (⑷持続可能な森林から産出された木材/⑸温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑸敷地外に影響を及ぼさないよう、外部に漏れる照明を減減させたり、また広告塔照明を設けたりしません。 | Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ④ LR-2 2 2.5 ⑷ LR-3 2 2.2 ⑸ | ⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ④ 敷地内温熱環境の向上 ⑷ 持続可能な森林から産出された木材 ⑸ 温熱環境悪化の改善 | | |